

国土数值情報（都市計画決定情報）

製品仕様書

第 1.0 版

令和 6 年 3 月

国土交通省 政策統括官付 情報活用推進課

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2023 年 3 月	初版

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	2
1.4 引用規格.....	3
1.5 用語と定義.....	3
1.6 略語.....	3
1.7 参考資料.....	4
2 適用範囲.....	5
2.1 適用範囲識別.....	5
2.2 階層レベル.....	5
3 データ製品識別.....	5
3.1 製品仕様識別.....	5
4 データ内容および構造.....	6
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	6
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	6
4.1.2 政策区域-行政地域パッケージ.....	7
4.1.3 都市計画決定情報パッケージ.....	7
4.1.4 都市計画決定パッケージ.....	8
4.1.5 共通パッケージ.....	32
4.2 空間スキーマプロファイル.....	32
4.3 時間スキーマプロファイル.....	32
5 参照系.....	32
5.1 座標参照系.....	32
5.2 時間参照系.....	32
6 データ品質.....	33
7 データ製品配布.....	34
7.1 配布書式情報.....	34
7.2 配布媒体情報.....	34
8 メタデータ.....	35
付属資料 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	37

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
国土数値情報（都市計画決定情報）製品仕様書 第 1.0 版
- 日 付：2024 年 3 月 18 日
- 作 成 者：国土交通省 政策統括官付 情報活用推進課
- 言 語：日本語
- 分 野：政策区域
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書の目的は、国土数値情報（都市計画決定情報）データの仕様の規定である。

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土形成や土地・不動産関連分野等の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、都市計画に関する重要な以下に示す項目を整備したものである。

- ・用途地域
- ・都市計画区域
- ・区域区分
- ・特別用途地区
- ・特例容積率適用地区
- ・高層住居誘導地区
- ・高度地区
- ・高度利用地区
- ・居住調整地域
- ・特定用途誘導地区
- ・防火準防火
- ・特定防災街区整備地区
- ・緑化地域
- ・航空機騒音障害防止地区、航空機騒音障害防止特別地区
- ・公園
- ・一団地の復興再生拠点市街地形成施設

- ・土地区画整理事業
- ・地区計画
- ・立地適正化計画

1.3 適用範囲

本製品仕様書に基づき整備されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

■ 空間範囲

全国

■ 時間範囲

地理空間データ製品の時間範囲は、2023年9月15日時点とする

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- Data Encoding Specification of i-Urban Revitalization -Urban Planning ADE- ver.3.0（内閣府地方創生推進事務局）
<https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/itoshisaisei/iur/index.html>
- OpenGISR OGC City Geography Markup Language (CityGML) Encoding Standard, Version 2.0, OGC document 12-019（Open Geospatial Consortium）
<https://www.ogc.org/standards/citygml>
- OpenGISR GML 3.1.1 simple dictionary profile, Version 1.0.0, OGC document 05-099r2（Open Geospatial Consortium）
<https://www.ogc.org/standards/gml>
- 3D 都市モデル標準仕様書 第 2.2 版
<https://www.mlit.go.jp/plateadocument/>
- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 令和元年 7 月
<https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html>
- JMP2.0 仕様書 (国土交通省国土地理院)
<https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html>
- 品質の要求, 評価及び報告のための規則 (国土交通省国土地理院)
<https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html>

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014「附属書 5 (規定) 定義」
- GIS ホームページ ガイダンス
<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>
- 都市計画決定データの製品仕様書に関する用語
<https://www.mlit.go.jp/plateadocument/>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- CityGML CityGeographyMarkupLanguage
- GML GeographyMarkupLanguage
- i-UR DataEncodingSpecificationofi-UrbanRevitalization-UrbanPlanningADE
- JPGIS JapanProfileforGeographicInformationStandards
- JMP JapanMetadataProfile
- UML UnifiedModelingLanguage

1.7 参考資料

国土数値情報で 사용되는コードリスト等については、以下のサイトを参照する。

- 国土数値情報ダウンロードサービス
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>
- 3D 都市モデル標準仕様書
<https://www.mlit.go.jp/plateaudocument/>
- i-UR 符号化仕様及びコードリスト
<https://www.geospatial.jp/iur/>
- 都市計画決定情報 GIS データ (CityGML 形式) 仕様書
<https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/content/001609329.pdf>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（都市計画決定）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称
国土数値情報（都市計画決定）データ
- 日付
2024年3月19日
- 問合せ先
国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述
日本全国

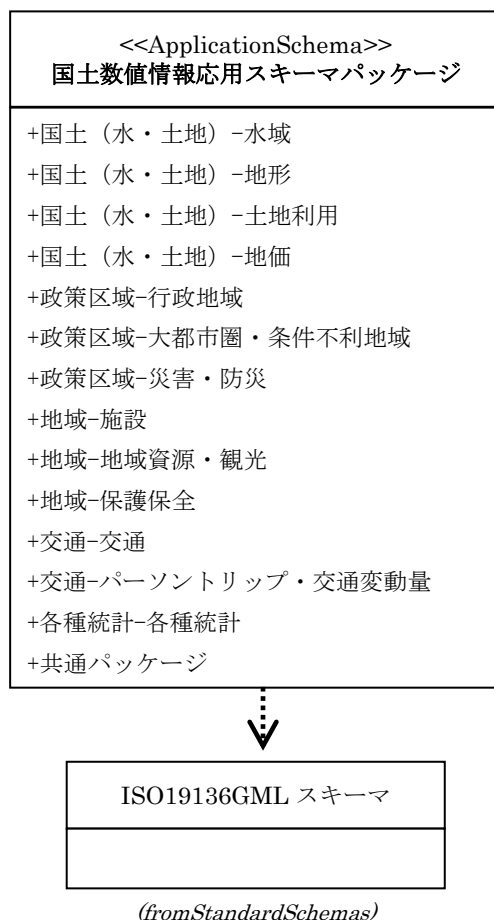
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物は、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 政策区域-行政地域パッケージ

このパッケージは、政策区域-行政地域パッケージをまとめたものである。

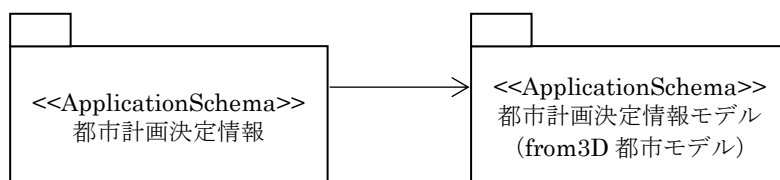


4.1.3 都市計画決定情報パッケージ

このパッケージは、都市計画決定情報パッケージをまとめたものである。

都市計画決定情報応用スキーマは、3D 都市モデル応用スキーマの都市計画決定情報モデルを引用している。

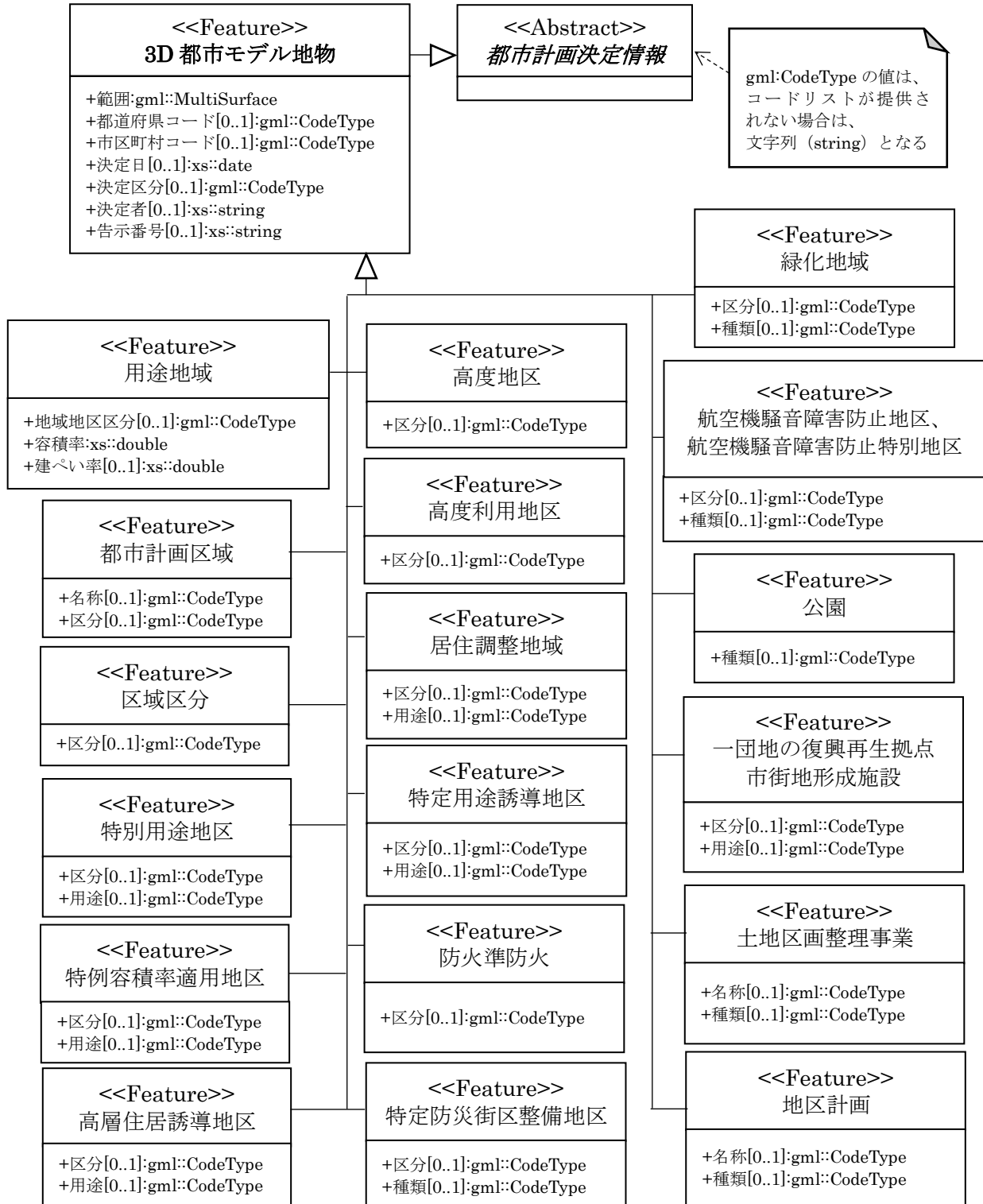
なお、3D 都市モデル応用スキーマは、CityGML 及び i-UR を引用する。さらに、CityGML は GML を引用し、i-UR は CityGML 及び GML を引用している。

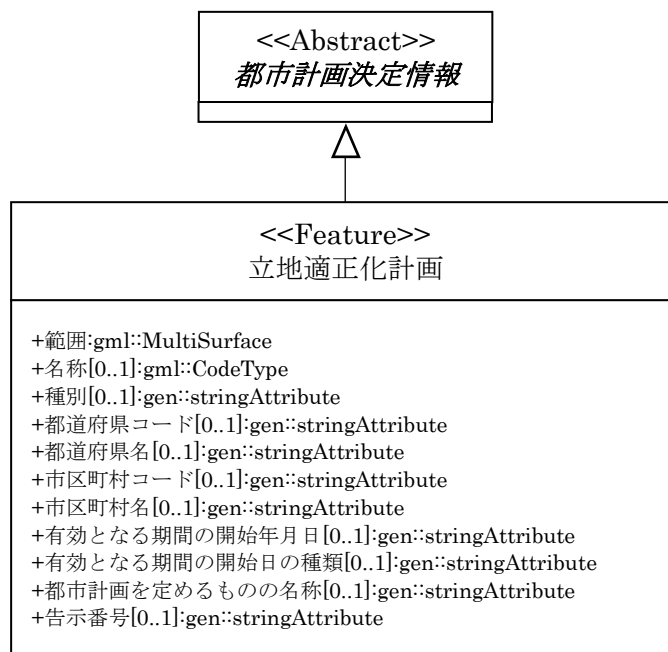


4.1.4 都市計画決定パッケージ

このパッケージは、都市計画決定に関する内容をまとめたものである。

4.1.4.1 応用スキーマクラス図





4.1.4.2 応用スキーマ文書

都市計画決定情報

原典資料（地方公共団体等作成の都市計画総括図又は GIS データ、国土数値情報（都市地域、用途地域、立地適正化計画区域））を基に作成した都市計画決定情報のデータである。

上位クラス：政策区域-行政地域

抽象/具象区分：抽象

属性

3D 都市モデル地物

都市計画決定情報の内、「3D 都市モデル標準製品仕様書」で定義されている項目を集めたクラスである。

上位クラス：都市計画決定情報

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：gml::MultiSurface

区域の範囲。

都道府県コード[0..1]：gml::CodeType

地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。

JISX0401 に示される 2 桁のコード。

■ 定義域

JISX0401 に示される 2 桁のコード。

市区町村コード[0..1]：gml::CodeType

地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。

都道府県コードに JISX0402 に示される市区町村コード 3 桁を加えた 5 桁のコー

ド。

■定義域

都道府県コードに JISX0402 に示される市区町村コード 3 桁を加えた 5 桁のコード。

決定日[0..1] : xs::date

効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

■定義域

西暦（YYYY-MM-DD）、または「0001-01-01」。

決定区分[0..1] : gml::CodeType

効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	Common_validType.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/Common_validType.xml
コード	説明
1	決定
2	廃止
3	変更
9	不明

■定義域

上記コード値

決定者[0..1] : xs::string

都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は「Null」とする。

告示番号[0..1] : xs::string

告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は「Null」とする。

用途地域

都市計画法第八条第1項第一号で定められる用途地域。

第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域。

上位クラス：3D都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

地域地区区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第8条第3項第1号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
0	用途地域の指定をしない区域
1	第1種低層住居専用地域
2	第2種低層住居専用地域
3	第1種中高層住居専用地域
4	第2種中高層住居専用地域
5	第1種住居地域
6	第2種住居地域
7	準住居地域
8	田園住居地域
9	近隣商業地域
10	商業地域
11	準工業地域
12	工業地域
13	工業専用地域

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
14	特別用途地区
15	特定用途制限地域
16	特例容積率適用地区
17	高層住居誘導地区
18	高度地区
19	高度利用地区
20	特定街区
21	都市再生特別地区
22	居住調整地域
23	特定用途誘導地区
24	防火地域
25	準防火地域
26	特定防災街区整備地区
27	景観地区
28	風致地区
29	駐車場整備地区
30	臨港地区
31	歴史的風土特別保存地区
32	第1種歴史的風土保存地区
33	第2種歴史的風土保存地区
34	緑地保全地域
35	特別緑地保全地区
36	緑化地域
37	流通業務地区
38	生産緑地地区
39	伝統的建造物群保存地区
40	航空機騒音障害防止地区
41	航空機騒音障害防止特別地区
42	居住環境向上用途誘導地区

■ 定義域

上記コード値

容積率 : xs::double

都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める容積率（延べ面積の敷地面積に対する割合）。全体を「1」とする割合で記述する。

■ 定義域

0～1

建ぺい率[0..1] : xs::double

都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロ及びハに定める建ぺい率（建築面積の敷地面積に対する割合）。全体を「1」とする割合で記述する。

■ 定義域

0～1

都市計画区域

都市計画区域。都市の実態や将来の計画を勘案して、一体の都市地域となるべき区域として指定された区域（都市計画法第 5 条第 1 項）。

複数の市区町村にまたがる都市計画区域の場合は、市区町村の境界で区切る。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

名称[0..1] : gml::CodeType

都市計画区域の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画区域の種類。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	Common_urbanPlanType.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/Common_urbanPlanType.xml
コード	説明
21	都市計画区域
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外

■ 定義域

21、27

区域区分

都市計画法第 7 条に基づき、無秩序な市街地の拡大による環境悪化の防止、計画的な公共施設整備などによる良好な市街地の形成などを行うため、都市計画区域について区分された、計画的な市街化を図るべき区域。

「市街化区域」と、市街化を抑制すべき「市街化調整区域」（都市計画法第 7 条）。

複数の市区町村にまたがる市街化区域又は市街化調整区域の場合は、市区町村の境界で区切る。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区域区分[0..1] : gml::CodeType

区域の種類。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。

ファイル名	Common_areaClassificationType.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/Common_areaClassificationType.xml
コード	説明
22	市街化区域
23	市街化調整区域

■ 定義域

上記コード値

特別用途地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号で定められる特別用途地区。

用途地域内の一定の地区における当該地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等の特別の目的の実現を図るため当該用途地域の指定を補完して定める地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

14

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。コードリスト（SpecialUseDistrict_usage.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	SpecialUseDistrict_usage.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/SpecialUseDistrict_usage.xml
コード	説明
1	特別工業地区
2	文教地区
3	小売店舗地区
4	事務所地区
5	厚生地区
6	娯楽レクリエーション地区

7	観光地区
8	特別業務地区
9	中高層階住居専用地区
10	商業専用地区
11	研究開発地区
12	その他

■定義域

上記コード値

特例容積率適用地区

都市計画法第8条第1項第2号の3で定められる特例容積率適用地区。

第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域又は工業地域内の適正な配置及び規模の公共施設を備えた土地の区域において、建築基準法第五十二条第一項から第九項までの規定による建築物の容積率の限度からみて未利用となっている建築物の容積の活用を促進して土地の高度利用を図るため定める地区。

上位クラス：3D都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第8条第3項第1号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■定義域

16

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。

高層住居誘導地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号の 4 で定められる高層住居誘導地区。

住居と住居以外の用途とを適正に配分し、利便性の高い高層住宅の建設を誘導するため、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域又は準工業地域でこれらの地域に関する都市計画において建築基準法第五十二条第一項第二号に規定する建築物の容積率が十分の四十又は十分の五十と定められたもの内において、建築物の容積率の最高限度、建築物の建蔽率の最高限度及び建築物の敷地面積の最低限度を定める地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

17

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。

高度地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号で定められる高度地区。

用途地域内において市街地の環境を維持し、又は土地利用の増進を図るため、建築物の高さの最高限度又は最低限度を定める地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■定義域

18

高度利用地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号で定められる高度利用地区。

用途地域内の市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、建築物の容積率の最高限度及び最低限度、建築物の建蔽率の最高限度、建築物の建築面積の最低限度並びに壁面の位置の制限を定める地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■定義域

19

居住調整地域

都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。

都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第八十九条の規定による居住調整地

域。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

22

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。

特定用途誘導地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。

都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第百九条第一項の規定による特定用途誘導地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

23

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。

防火準防火

都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号で定められる防火地域又は準防火地域。市街地における火災の危険を防除するため定める地域。

上位クラス : 3D 都市モデル地物

抽象/具象区分 : 具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

24 または 25

特定防災街区整備地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号の 2 で定められる地区。

密集市街地整備法第三十一条第一項の規定による特定防災街区整備地区。

上位クラス : 3D 都市モデル地物

抽象/具象区分 : 具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■定義域

26

種類[0..1] : gml::CodeType

区域の種類。

緑化地域

都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。

都市緑地法（昭和四十八年法律第七十二号）第三十四条第一項の規定による緑化地域。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■定義域

36

種類[0..1] : gml::CodeType

区域の種類。

航空機騒音障害防止地区、航空機騒音障害防止特別地区

都市計画法第 8 条第 1 項第 16 号で定められる地区。

特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法（昭和五十三年法律第二十六号）第四条第一項の規定による航空機騒音障害防止地区及び航空機騒音障害防止特別地区。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

コード表は、「用途地域」を参照。

■ 定義域

40 または 41

種類[0..1] : gml::CodeType

区域の種類。

公園

都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号に定める公園。ただし、一部の市町村においては指定のない公園を含む。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない都市施設を記述する場合は、その種類を文字列

で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	UrbanFacility_function.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/UrbanFacility_function.xml
コード	説明
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3025	運動場
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3034	地域冷暖房施設
3035	石油パイプライン
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河
3060	教育文化施設

ファイル名	UrbanFacility_function.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/UrbanFacility_function.xml
コード	説明
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3064	博物館
3065	美術館
3070	医療施設
3071	病院
3072	診療所
3073	保健所
3074	助産所
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3082	乳児院
3083	母子寮
3084	養護老人ホーム
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設
3200	防火施設
3201	防火水槽
3210	防水施設

ファイル名	UrbanFacility_function.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/UrbanFacility_function.xml
コード	説明
3211	河岸堤防
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3231	防潮堤
3240	防砂施設
3241	地滑り防止施設

■ 定義域

3021

種類[0..1] : gml::CodeType

区域の種類。

一団地の復興再生拠点市街地形成施設

都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 13 号に定める施設。
福島復興再生特別措置法（平成二十四年法律第二十五号）第三十二条第一項に規定する一団地の復興再生拠点市街地形成施設。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。コード表は、「公園」を参照。

■ 定義域

3150

用途[0..1] : gml::CodeType

区域の用途。

土地区画整理事業

都市計画法第 12 条第 1 項第 1 号に定める事業。

土地区画整理法（昭和二十九年法律第百十九号）による土地区画整理事業。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

名称[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

区分[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	UrbanDevelopmentProject_function.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/UrbanDevelopmentProject_function.xml
コード	説明
1	土地区画整理事業
2	新住宅市街地開発事業
3	工業団地造成事業
4	市街地再開発事業
5	新都市基盤整備事業
6	住宅街区整備事業

■ 定義域

1

建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置等からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、開発し、及び保全するための計画。

上位クラス：3D 都市モデル地物

抽象/具象区分：具象

属性

名称[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

種類[0..1] : gml::CodeType

都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。

促進区を定める場合、当該地区計画は、再開発等促進区又は開発整備促進区を定める地区計画となる。コードリスト (DistrictPlan_function.xml) より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

ファイル名	DistrictPlan_function.xml
ファイル URL	https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.0/DistrictPlan_function.xml
コード	説明
1	地区計画
2	再開発等促進区を定める地区計画
3	開発整備促進区を定める地区計画
4	地区計画（誘導容積型）
5	地区計画（容積適正配分型）
6	地区計画（高度利用型）
7	地区計画（用途別容積型）
8	地区計画（街並み誘導型）
9	地区計画（立体道路制度）
10	防災街区整備地区計画
11	歴史的風致維持向上地区計画
12	沿道地区計画
13	沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画

■定義域

上記コード値

立地適正化計画

立地適正化計画区域。市町村が都市再生特別措置法に基づいて作成した立地適正化計画に位置づけられた区域であり、「立地適正化計画区域」「居住誘導区域」「都市機能誘導区域」の3種類がある。

上位クラス：都市計画決定情報

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：gml::MultiSurface

区域の範囲。

名称[0..1]：gml::CodeType

立地適正化計画区域を識別する名前。

■定義域

立地適正化計画

ファイル名	GenericCityObject_name.xml
コード	説明
1	立地適正化計画

種別[0..1]：gen::stringAttribute

立地適正化計画区域の種別を識別する名前。

■定義域

立地適正化計画区域、居住誘導区域、都市機能誘導区域のいずれか

都道府県コード[0..1] : gen::stringAttribute

地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。
JISX0401 に示される 2 桁のコード。

■ 定義域

JISX0401 に示される 2 桁のコード。

都道府県名[0..1] : gen::stringAttribute

当該行政区の都道府県の名称。正式な名称である。
平仮名、片仮名、漢字等は全角とする。

■ 定義域

日本国内の都道府県名称。

市区町村コード[0..1] : gen::stringAttribute

地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。
都道府県コードに JISX0402 に示される市区町村コード 3 桁を加えた 5 桁のコード。

■ 定義域

都道府県コードに JISX0402 に示される市区町村コード 3 桁を加えた 5 桁のコード。

市区町村名[0..1] : gen::stringAttribute

当該行政区の市町村の名称。正式な名称である。
平仮名、片仮名、漢字等は全角とする。

■ 定義域

日本国内の市町村名称。

有効となる期間の開始年月日[0..1] : gen::stringAttribute

効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

有効となる期間の開始日の種類[0..1] : gen::stringAttribute

効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml

1) より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

都市計画を定めるものの名称[0..1] : gen::stringAttribute

都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は「Null」とする。

告示番号[0..1] : gen::stringAttribute

告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は「Null」とする。

4.1.5 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。本製品仕様書においては使用していない。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

座標参照系は、参照系識別子 : JGD2011 / (B,L) とする。この表記は、JISX7115 附属書 2 に規定された表記方法に準拠しており、JGD2011 は日本測地系 2011、(B,L) は測地座標系による緯度、経度であることを示している。

5.2 時間参照系

時間参照系は、参照系識別子 : “GC / JST” とする。この表記は、JISX7115 附属書 1 に規定された表記方法に準拠しており、GC はグレゴリオ暦 (西暦)、JST は日本標準時であることを示している。

6 データ品質

データ製品に対する品質要求及び品質評価手順を示す。

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料（原典資料提供者から別途指示があった場合はこれを反映したもの）が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。 誤率（％）＝（過剰なデータ数／原典資料に含まれるデータ総数）×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料（原典資料提供者から別途指示があった場合はこれを反映したもの）と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 誤率（％）＝（漏れのデータ数／原典資料に含まれるデータ総数）×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

- 書式名称

3D 都市モデル標準仕様書 第2版に規定される CityGML2.0 及び i-UR 2.0

- 符号化仕様

以下のスキーマに従う。

<https://www.geospatial.jp/iur/schemas/urf/2.0/urbanFunction.xsd>

<https://www.geospatial.jp/iur/schemas/uro/2.0/urbanObject.xsd>

また、i-UR で定義されたコードリストは以下を参照のこと。

<https://www.geospatial.jp/iur/codelists/2.0/>

3D 都市モデル標準仕様書 第2版に規定されるスキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XMLSchema は、以下の URL に掲載されている XMLSchema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.1.1/gml.xsd>

- 文字集合

UTF-8

- 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

- 単位

都道府県単位

- 媒体名

以下のサイトよりダウンロード。

以下のサイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサイト

<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8 メタデータ

本製品仕様書のデータ製品のメタデータは、JMP2.0 で記述する。

国土数值情報（都市計画決定情報）製品仕様書 第 1.0 版

付属資料

付属資料 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	コードファイル名
政策区域-行政地域				
A55都市計画決定情報				
3D都市モデル地物		UrbanPlannningArea		
範囲		gml::MultiSurface		
都道府県コード[0..1]		gml::CodeType	urf::prefecture	Common_prefecture.xml
市区町村コード[0..1]		gml::CodeType	urf::city	Common_localPublicAuthorities.xml
決定日[0..1]		xs::date	urf::validFrom	
決定区分[0..1]		gml::CodeType	urf::validFromType	Common_validType.xml
決定者[0..1]		xs::string	urf::custodian	
告示番号[0..1]		xs::string	urf::notificationNumber	
用途地域			urf::UseDistrict	
地域地区区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
容積率		xs::double	urf::floorAreaRate	
建ぺい率[0..1]		xs::double	urf::buildingCoverageRate	
都市計画区域			urf::UrbanPlanningArea	
名称[0..1]		gml::CodeType	gml::name	
区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_urbanPlanType.xml
区域区分			urf::AreaClassification	
区域区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_areaClassificationType.xml
特別用途地区			urf::SpecialUseDistrict	
区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
用途[0..*]		gml::CodeType	urf::usage	SpecialUseDistrict_usage.xml
特例容積率適用地区			urf::ExceptionalFloorAreaRateDistrict	
区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
用途[0..*]		gml::CodeType	urf::usage	
高層住居誘導地区			urf::HighRiseResidentialAttractionDistrict	
区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
用途[0..*]		gml::CodeType	urf::usage	
高度地区			urf::HeightControlDistrict	
区分[0..1]		gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	コードファイル名
高度利用地区			urf::HighLevelUseDistrict	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
居住調整地域			urf::HousingControlArea	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
	用途[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
特定用途誘導地区			urf::SpecialUseAttractionDistrict	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
	用途[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
防火準防火			urf::FirePreventionDistrict	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
特定防災街区整備地区			urf::SpecifiedDisasterPreventionBlockImprovementZone	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
	種類[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
緑化地域			urf::TreePlantingDistrict	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
	種類[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
航空機騒音障害防止地区、航空機騒音障害防止特別地区			urf::AircraftNoiseControlZoneurf::AircraftNoiseControlZone	
	区分[0..1]	gml::CodeType	urf::function	Common_districtsAndZonesType.xml
	種類[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
公園			urf::UrbanFacility	
	種類[0..1]	gml::CodeType	urf::function	UrbanFacility_function.xml
一団地の復興再生拠点市街地形成施設			urf::CollectiveFacilitiesForReconstructionAndRevitalization	
	種類[0..1]	gml::CodeType	urf::function	UrbanFacility_function.xml
	用途[0..*]	gml::CodeType	urf::usage	
土地区画整理事業			urf::LandReadjustmentProject	
	名称[0..1]	gml::CodeType	gml::name	
	種類[0..1]	gml::CodeType	urf::function	UrbanDevelopmentProject_function.xml
地区計画			urf::DistrictPlan	
	名称[0..1]	gml::CodeType	gml::name	

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	コードファイル名
	種類[0..1]	gml::CodeType	urf:function	DistrictPlan_function.xml
	立地適正化計画		gen::GenericCityObject	
	範囲	gml::MultiSurface		
	立地適正化計画		gen::genericAttributeSet	
	名称[0..1]	gml::CodeType	gml::name	GenericCityObject_name.xml
	種別[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="種別")	
	都道府県コード[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="都道府県コード")	
	都道府県名[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="都道府県名")	
	市区町村コード[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="市区町村コード")	
	市区町村名[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="市区町村名")	
	有効となる期間の開始年月日[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="有効となる期間の開始年月日")	
	有効となる期間の開始日の種類[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="有効となる期間の開始日の種類")	
	都市計画を定めるものの名称[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="都市計画を定めるものの名称")	
	告示番号[0..1]	gen::stringAttribute	gen::stringAttribute(name="告示番号")	

スキーマおよびコードリストは、7.1 配布書式情報を参照のこと。
本製品仕様書で定義したコード GenericCityObject_name.xml は以下のとおり。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<gml:Dictionary xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml" xsi:schemaLocation="http://www.opengis.net/gml http://schemas.opengis.net/gml/3.1.1/profiles/SimpleDictionary/1.0.0/gmlSimpleDictionaryProfile.xsd" gml:id="GenericCityObject_name">
  <gml:name>GenericCityObject_name</gml:name>
  <gml:dictionaryEntry>
    <gml:Definition gml:id="id1">
      <gml:description>立地適正化計画</gml:description>
      <gml:name>1</gml:name>
    </gml:Definition>
  </gml:dictionaryEntry>
</gml:Dictionary>
```